

哲学の始まり



(i) 倫理ってどんな教科？

みんなが考えていることは、完全に自分オリジナルのものだろうか？友達や家族に話すこと、SNSに書き込む意見などは、自分の考えと思って発しているかもしれないが、それは突き詰めると結局、誰かからの受け売りでできた考えではないだろうか？親、友人、書籍、ネット…周りの様々な影響を受け、自分の考えは作られていくんだ。

そこで本題に入る。倫理とは、一言で言えば、“過去の偉人たちの「思想」を学ぶ”教科。多様な考えを知り、学び、自分の思考の幅(価値観)を広げていくことが目標になる。教科書に載るような思想なので、大体ぶっ飛んでいることが多く、常人では理解できないこともあるかもしれない。しかし、その中で少しでも、自分の考え方や人生観に影響を与えるものがあれば嬉しい。楽しんで受けられるよう努力します！1年間頑張ろう！

(ii) 哲学の誕生

哲学(philosophy)・・・

「世界とは何か」「人間とは何か」についてとことん研究すること

【語源】「 (=フィロソフィア) 」(ギリシャ語)



最初の問い

世界の成り立ち「自然は何から作られている？」「どうやって世界は動いている？」

[1] () によって説明 ex.[2] 『イリアス』『オデュッセイア』
[3] 『神統期』

例：雷がなった・・・ が怒っている。地震が起きた・・・ の仕業だ。

つまり、何でも神様のせいにしていた。これなら何も考える必要は無い。一種の思考停止状態。

社会的背景の変化

B.C 8c~ ・都市国家([4])が成立

B.C 6c~ ・敗戦国の人間や、他所からお金で買ってくる が雑用を担うようになる。

※当時のギリシャの中心的ポリスであったアテネは、総人口の が奴隷だった。

Think 周りに奴隷が当たり前のようにいる社会・・・私生活はどうなるだろう？ → になる。

=閑暇(スコレー)

暇になった人間はどうする・・・？



哲学のはじまり・・・人間自身の理性 ([5])で論理的に考えようとするようになった。

・ [6] ([7])：個々の物を見つめ、存在する原理をとらえようとする静観的な態度

・ [8] ([8])：(フィロソフィア)：実用から離れて、自由に真理を求め愛する精神

(iii) 自然哲学の誕生

自然哲学のテーマ…「.....の.....」(=[⁹.....])は何か？

| | 思想家 | アルケー | 主張 |
|------------------|---------------------------------|---------------|--|
| 古 ↑ ↓ 新 | ¹⁰ (前 624~546) | ¹¹ | 全てのものは、.....から生じ、.....へと減びていく。 |
| | アナクシマンドロス (前 610~546) | 無限なもの | 自然界の“有限なもの”は“無限なるもの”から生じる。 |
| | アナクシメネス (?~前 525) | ¹² | 呼吸が生命を作るように、.....が世界を作る。 |
| | ¹³ (前 6 世紀ごろ) | ¹⁴ |が万物の秩序をもたらしている。 数学や音楽を通じ、その秩序を理解すれば、魂は浄化される。 |
| | ¹⁵ (前 540 頃?) | ¹⁶ | 万物は絶え間なく運動・変化する。=「 ¹⁷」 物質としての火ではなく、魂に宿るエネルギーのような火として捉えた。 |
| | エンペドクレス (前 493~433) | 火・水・土・空気 | 4つの元素が集合離散を繰り返し自然を構成する。 |
| | ¹⁸ (前 460~370) | ¹⁹ | 万物はそれ以上分割不可能な.....(アトム)の集合で出来ている |

* [²⁰.....] 学派：ギリシャ植民市ミレトスで活躍した初期の哲学者による派閥

ex タレス、アナクシマンドロス、アナクシメネス

* [²¹.....] 学派：ギリシャ植民市エレアで発達した学派

ex **パルメニデス** 「あるものは在り、ないものは無い。変化や運動は単なる見せかけである。」

ゼノン 「アキレスと亀」の議論を用いて、師匠であるパルメニデスの説を擁護

(iv) ソフィストの登場

B.C 5c 頃～ アテネでは**直接民主制 (市民参加型)**の政治が始まる

⇒ 人々の興味は、.....(ピュシス) から(ノモス) へ

18 歳以上の男子であれば誰でも発言できる民会で、法律や戦争についての議論・投票をしていた。

家柄や財産は関係なく、「話のうまい人間」が活躍する社会に！ ➡ [²².....]が流行

↓

報酬を得ながら、これを教える先生が登場 (=[²³.....])(知者) ex. **プロタゴラス**、**ゴルギアス**

プロタゴラス | ギリシャ (前494-424)

人間は万物の尺度である

代表的ソフィストとして活躍

★ [²⁴.....] “絶対的なもの”や“必ず正しいもの”は世界には存在しない。

「絶対おいしいものはあるか?」「40°C のお湯は熱い?」「誰もが美人だと思う人はいるか?」

「大量殺人って悪なのか?」etc... 善悪・美醜・感覚は地域や文化・宗教・時代などによって異なる。



ソフィストたちは、道徳や法律、社会制度を人間の立場からとらえ直そうとしたが、時代が進むにつれ、弁論で勝てばよい風潮が広まるようになる。都合の良い理屈で相手に強要するソフィストも出現し、政治は揺るぎ、ポリスは混乱した。人の心は荒廃し、道徳意識も失われていった。そんな中、アテネの正義と秩序を求め、一人の男が立ち上がった…続きは次のプリントで！

[]年[]組[]番 名前

哲学の始まり



(i) 倫理ってどんな教科？

みんなが考えていることは、完全に自分オリジナルのものだろうか？友達や家族に話すこと、SNSに書き込む意見などは、自分の考えと思って発しているかもしれないが、それは突き詰めると結局、誰かからの受け売りでできた考えではないだろうか？親、友人、書籍、ネット…周りの様々な影響を受け、自分の考えは作られていくんだ。

そこで本題に入る。倫理とは、一言で言えば、“過去の偉人たちの「思想」を学ぶ”教科。多様な考えを知り、学び、自分の思考の幅(価値観)を広げていくことが目標になる。教科書に載るような思想なので、大体ぶっ飛んでいることが多く、常人では理解できないこともあるかもしれない。しかし、その中で少しでも、自分の考え方や人生観に影響を与えるものがあれば嬉しい。楽しんで受けられるよう努力します！1年間頑張ろう！

(ii) 哲学の誕生

哲学(philosophy)・・・ 世界や人間の原理についての探究

「世界とは何か」「人間とは何か」についてとことん研究すること

【語源】「**知を愛する** (=フィロソフィア)」（ギリシャ語）

殺人罪の量刑は
どうすべき…



なぜ人を殺して
いけないのか



最初の問い

世界の成り立ち「自然は何から作られている？」「どうやって世界は動いている？」

[¹ **神話**] (ミュトス) によって説明 ex.[² **ホメロス**] 『イリアス』『オデュッセイア』

[³ **ヘシオドス**] 『神統期』

例：雷がなった… ゼウス が怒っている。地震が起きた… ポセイドン の仕業だ。

つまり、何でも神様のせいにしていた。これなら何も考える必要は無い。一種の思考停止状態。

社会的背景の変化

B.C 8c~ ・都市国家([⁴ **ポリス**])が成立

B.C 6c~ ・敗戦国の人間や、他所からお金で買ってくる 奴隷 が雑用を担うようになる。

※当時のギリシャの中心的ポリスであったアテネは、総人口の 4割 が奴隷だった。

Think☞ 周りに奴隷が当たり前のようにいる社会…私生活はどうなるだろう？ → 暇 になる。

=閑暇(スコレー)

暇になった人間はどうする…？



哲学しようぜ！

哲学のはじまり・・・人間自身の理性 ([⁵ **ロゴス**]) で論理的に考えようとするようになった。

- ・ [⁶ **テオーリア**] (⁷ **観想**)：個々の事物を見つめ、存在する原理をとらえようとする静観的な態度
- ・ [⁸ **愛知**] (フィロソフィア)：実用から離れて、自由に真理を求め愛する精神

(iii) 自然哲学の誕生

自然哲学のテーマ… 「万物の根源」 (= [9 アルケー]) は何か？

| | 思想家 | アルケー | 主張 |
|------------------|--|-------------------------|---|
| 古 ↑ ↓ 新 | ¹⁰ タレス (前 624~546) | ¹¹ 水 | 全てのものは、 <u>水</u> から生じ、 <u>水</u> へと減びていく。 |
| | アナクシマンドロス (前 610~546) | 無限なもの | 自然界の“有限なもの”は“無限なるもの”から生じる。 |
| | アナクシメネス (?~前 525) | ¹² 空気 | 呼吸が生命を作るように、 <u>空気</u> が世界を作る。 |
| | ¹³ ピュタゴラス (前 6世紀ごろ) | ¹⁴ 数 | <u>数</u> が万物の秩序をもたらしている。 数学や音楽を通じ、その秩序を理解すれば、魂は浄化される。 |
| | ¹⁵ ヘラクレイトス (前 540頃?) | ¹⁶ 火 | 万物は絶え間なく運動・変化する。= 「 ¹⁷ 万物は流転する 」 物質としての火ではなく、魂に宿るエネルギーのような火として捉えた。 |
| | エンペドクレス (前 493~433) | 火・水・土・空気 | 4つの元素が集合離散を繰り返し自然を構成する。 |
| | ¹⁸ デモクリトス (前 460~370) | ¹⁹ 原子 | 万物はそれ以上分割不可能な <u>原子</u> (アトム) の集合で出来ている |

* [20 **ミレトス**] 学派：ギリシャ植民市ミレトスで活躍した初期の哲学者による派閥

ex タレス、アナクシマンドロス、アナクシメネス

* [21 **エレア**] 学派：ギリシャ植民市エレアで発達した学派

ex **パルメニデス** 「あるものは在り、ないものは無い。変化や運動は単なる見せかけである。」

ゼノン 「アキレスと亀」の議論を用いて、師匠であるパルメニデスの説を擁護

(iv) ソフィストの登場

B.C 5c 頃～ アテネでは**直接民主制 (市民参加型)** の政治が始まる

⇒ 人々の興味は、自然(ピュシス) から 人為(ノモス) へ

18歳以上の男子であれば誰でも発言できる民会で、法律や戦争についての議論・投票をしていた。

家柄や財産は関係なく、「話のうまい人間」が活躍する社会に！ ➡ [22 **弁論術**] が流行

↓

報酬を得ながら、これを教える先生が登場 (= [23 **ソフィスト**] (知者)) ex. **プロタゴラス**、**ゴルギアス**

プロタゴラス

■ギリシャ (前494-424)

人間は万物の尺度である

代表的ソフィストとして活躍

★ [24 **相対主義**] 「絶対的なもの」や「必ず正しいもの」は世界には存在しない。

「絶対おいしいものはあるか?」「40℃のお湯は熱い?」「誰もが美人だと思う人はいるか?」

「大量殺人って悪なのか?」etc… 善悪・美醜・感覚は地域や文化・宗教・時代などによって異なる。



ソフィストたちは、道徳や法律、社会制度を人間の立場からとらえ直そうとしたが、時代が進むにつれ、弁論で勝てばよい風潮が広まるようになる。都合の良い理屈で相手に強要するソフィストも出現し、政治は揺るぎ、ポリスは混乱した。人の心は荒廃し、道徳意識も失われていった。そんな中、アテネの正義と秩序を求め、一人の男が立ち上がった…続きは次のプリントで！

[]年[]組[]番 名前